

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
精神保健福祉制度論		選択	2	3	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
宮澤 江梨子	講師控室	kyoumu	随時メールにて質問等受付			
授業の目的・概要	<p><目的>日本にある様々な社会保障制度の中から、精神障害者の生活支援や経済的支援に関する制度、精神保健福祉法や医療観察法などの法制度の体系について理解し、各制度における精神保健福祉士の役割を理解することを目的とする。</p> <p><概要>教科書を中心に解説し、関係省庁から出される通知等も取り上げる。制度は時代の変化と共に変わっていくものであるため、ニュースなども取り上げ適宜ディスカッションを行って理解を深める。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()					
学習上の助言	法律や制度に苦手意識を持つ学生は多いと思うが、分からないことは積極的に質問し、疑問を放置しないようにしてほしい。					
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉制度論 第2版/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版					
参考書	なし					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神障害者に関する法制度の全体像を理解し、その特徴を説明することができる。			HC(1)、(2)、(5)		
②	精神保健福祉法の目的と概要を理解し、説明することができる。			HC(1)、(2)、(5)		
③	医療観察法の目的と概要を理解し、説明することができる。			HC(1)、(2)、(5)		
④	精神障害者の生活支援において必要な制度・施策を理解し、説明することができる。			HC(1)、(2)、(5)		
⑤	精神障害者の経済的支援に必要な制度・施策を理解し、説明することができる。			HC(1)、(2)、(5)		
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション:講義概要、進め方、評価方法等を理解する。	講義	教科書「はじめに」を読み、知らない単語は調べる。	2		
2	<第1章 精神障害者に関する制度・施策の理解> 精神障害者に関する制度・施策の特徴について学習する。	講義	教科書と配布資料を使用して復習し、次回講義範囲の教科書を読む。	4		
3	<第2章 精神障害者の医療に関する制度>	講義		4		
4	精神保健福祉法の概要と精神保健福祉士の役割を学習する。	講義 ディスカッション		4		
5	医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割を学習する。	講義		4		
6		講義 ディスカッション		4		
7	精神科医療と関連する施策について学習する。	講義		4		
8	<第3章 精神障害者の生活支援に関する制度> 生活支援の基本的な考え方を学習する。	講義		4		
9	障害者総合支援法を中心に相談支援制度について学習する。	講義		4		
10	居住支援制度の必要性和精神保健福祉士の役割を学習する。	講義		4		
11	精神障害者が働くことの意味と就労支援制度について学習する。	講義 ディスカッション		4		
12	<第4章 精神障害者の経済的支援> 所得保障に関する制度について学習する。	講義		4		
13	経済的負担(出費)の軽減に関する制度について学習する。	講義 ディスカッション		4		
14	<第5章 精神障害者と生活困窮> 生活困窮者に関する制度の全体像を学習する。	講義		4		
15	全体のまとめと振り返りを行う	講義		全体の復習を行う。	6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照。					

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	0	0	0	40	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		10	0	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	筆記試験で実施する。(60点満点) 授業で取り扱った内容から、知識の定着及び理解度について問う。 試験範囲については、講義内で説明を行う。			Microsoft Teams を使用し、 フィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパー (30点) と授業 への参加態度・意欲 (10点) で評価を行う。			リアクションペーパーについ ては、次の講義の始めにフィ ードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・ 教員が示す授業方法を遵守することとし、守れない場合には授業への参加を認めない場合があります。 ・ 講義への意欲がみられない場合や他の学生の迷惑となる行為が見受けられた場合は退室を指示する場合があります。 						